

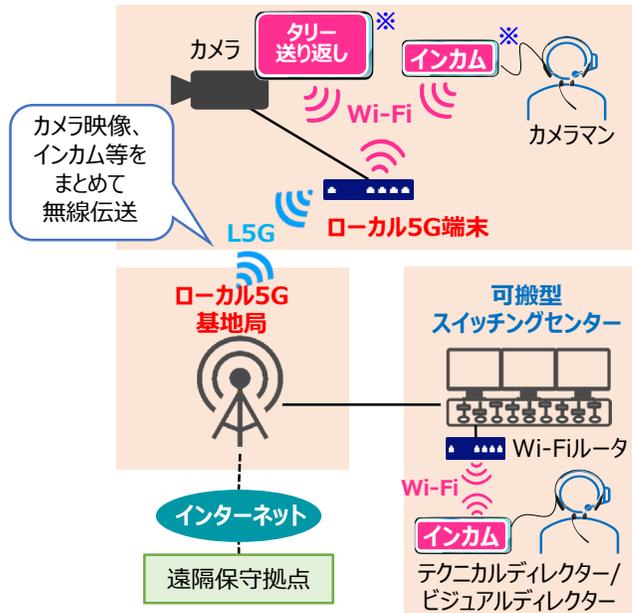
ローカル5Gを活用した ドラマ映像制作の合理化に向けた実証

実施体制 <small>(下線：代表機関)</small>	(株)NHKエンタープライズ、(株)NHKテクノロジーズ、NECネットエスアイ(株)、(株)FLARE SYSTEMS、 (株)stu、(株)クエエ	実施地域	茨城県つくばみらい市 (ワープステーション江戸)
実証概要	近年、若年層を中心に「テレビ離れ」が顕在化しているところ、放送市場規模及びテレビ広告市場規模が縮小するとともに、 番組制作費の減少 や、それに伴う コンテンツ品質の低下 という課題が存在。 ▶ 撮影映像等の無線伝送による 撮影業務の合理化・高度化 、リアルタイムVFXシステム※を活用した 編集業務の合理化・高度化 及び、複数映像の同期・スイッチングによる 訴求力のあるコンテンツ制作 の実証を実施。 ▶ テレビ放送開始以来のケーブルを前提とした業務の変革による コスト構造の改善 及び、 コンテンツ品質の向上 を実現。		
技術実証	▶ 広大かつ建物が点在する屋外ロケ施設における 分散アンテナシステム を活用した柔軟なエリア構築や、 同期局と準同期局が隣接した環境での干渉影響評価・干渉軽減手法 の検討を実施。 ▶ 周波数：4.8-4.9GHz帯（100MHz） 構成：SA方式 利用環境：屋外		

※ 撮影時のカメラ位置・角度等のデータを伝送し、リアルタイムにCG映像を合成するとともに合成したCG映像をリアルタイムに確認することを可能にするシステムのこと。

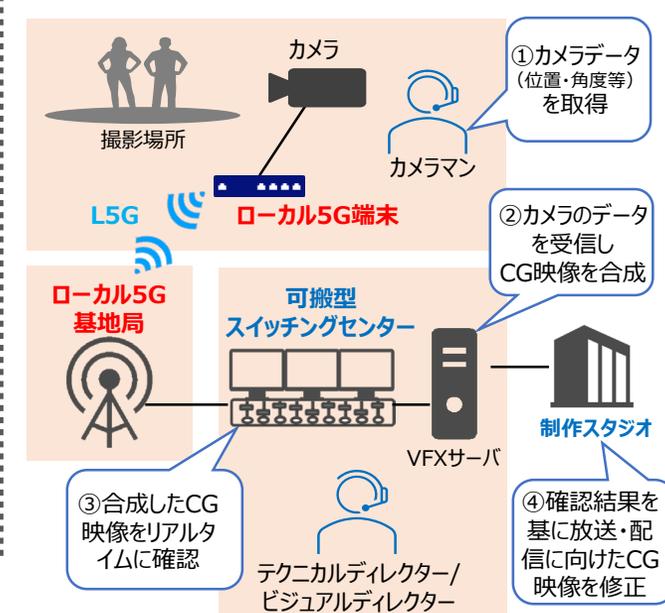
撮影業務の合理化・高度化

✓ 撮影現場のワイヤレス化により、撮影コストを削減



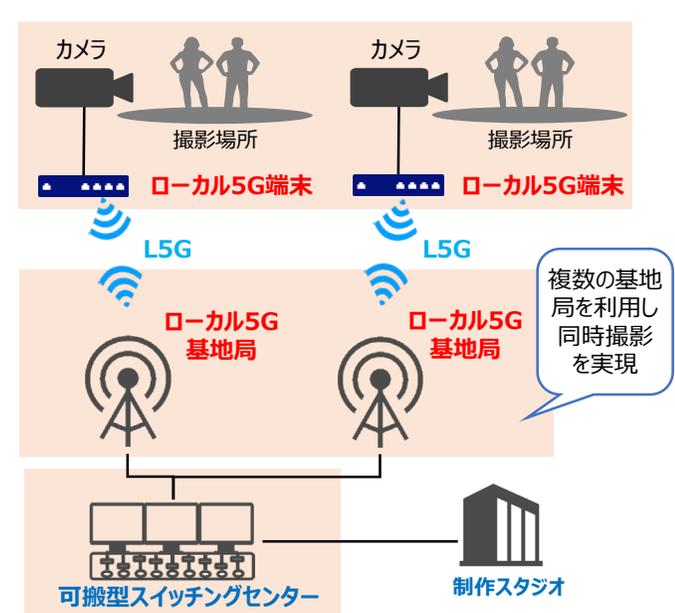
編集業務の合理化・高度化

✓ リアルタイムなCG合成映像の確認により、編集コストを削減



訴求力のあるコンテンツ制作

✓ 複数エリアで同時にドラマが進行する新たなコンテンツを制作



※タリ-:記録対象のカメラを知らせるランプ ※折り返し:選択されている映像を各カメラに設置されたモニタに送り返して表示させること
 ※インカム:インターコミュニケーションシステムの略で、特定の区域内で通信する無線機器